

東京都高等学校選手権水泳競技大会 追加要項

東京都高体連水泳専門部

大会参加するにあたり、令和6年度東京都高等学校体育連盟水泳専門部競技会要項 P29～33「8. 競泳における大会当日の諸注意」に記載されている内容と本追加要項を必ず確認し、引率責任者は示される諸注意を厳守し、部員やその保護者に周知徹底すること。

1 入場について

- (1) 選手・選手外生徒・顧問・コーチ（ADカードを所持している者）の入場時間は、8時00分とし、2階東側出入口からの入場とする。
- (2) 「選手証」、「選手外生徒証」、「顧問証」、「コーチ証」（以下「ADカード」）には、略称ゴム印を押印し、サインペンやボールペンなどで氏名を記入し、ADホルダーに入れ提示できるようにする。
- (3) 「応援券」での入場時間は、9時00分とし、2階西側出入口からの入場とする。
- (4) 「応援券」にも所属校の略称ゴム印の押印が必要。
- (5) 館内入場後、2階東側出入口にある受付ブースで、応援券を提出し、保護者等入場証と引き換え後、**所属・氏名を記入**してからADホルダーに入れ、首から下げた状態で明示すること。

2 会場使用上の注意

- (1) 控え場所（スタンド座席）・導線・更衣について
 - ①学校ごとにスタンド席を割り振る。指定区域外への立ち入りを禁止する。（別紙「座席表」参照）
 - ②マッサージベッドの使用については、1階ロビーに指定場所を設ける。持ち込み及び使用にあたっては専門部ホームページから申請書をダウンロードし、当日リゾリユーションデスクに提出すること。
 - ③2階電光表示板下のスペースを「体操・ストレッチ用スペース」として開放する。使用にあたっては、場所取り等の占有を禁止とし、応援、長時間にわたる居座りや会話、マットの放置はせず譲り合って使用すること。守れない選手があまりに多い場合は閉鎖する。
 - ④2階A06席とB06席の後方3列に撮影専用席を設ける。撮影者のみ使用可能。レース撮影後は速やかに退席し、譲り合って利用すること。
 - ⑤1日目の競技終了後、2階・3階のスタンド、4階の控え場所の荷物はすべて2階通路にある車椅子観覧スペースに整理整頓して置いていくことは認める。指定以外の場所にあるすべての荷物は忘れ物として対応する。
 - ⑥スタンド席から更衣室・プール・招集所までの導線は、別紙「会場図」を参照すること。
 - ⑦更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置いていかない。荷物は赤台に置くこと。
 - ⑧部旗の掲揚を許可する。詳しくは下記を参照のこと。
 - ⑨2階通路（車椅子観覧スペースを含む）からは応援、撮影をしないこと。

3 プールの使用について

混雑状況によって変更する場合がありますので、当日は競技役員の指示に従うこと。

(1) メインプール

- ①長水路10レーンで行う。水深は3mとする。レーン設定は0～9レーンとする。
- ②バックプレート付きスタート台およびバックストロークレッジを使用する。
- ③8時00分から9時15分までウォーミングアップが可能である。
- ④レーンロープにはつかまらないこと。また、パドル・フィン・スノーケルの使用は禁止する。

- ④朝のウォーミングアップ時は、0レーンは常時ダッシュレーン（電光掲示板側）、1レーンは自由形のみ
のペースレーン、2～9レーンを周回レーンとし、男女分けを行う。詳しくは「会場図」を参照のこ
と。＊状況によってレーン数の調整を行う。公式スタート練習はメインプールでは行わない。
- ⑤予選競技と決勝競技の間でメインプールでのアップの時間を設ける。決勝競技出場者のみ利用できる。

(2) ダイビングプール

- ①競技中はウォーミングアップとダウンが可能。尚、1，6レーンはダッシュレーンとする。
- ②男女でレーンを分ける。メインプール側は男子専用、高飛び込み台側は女子専用とする。
- ③飛込競技用設備には触れないこと。また突起物には十分注意すること。
- ④パドル・フィン・スノーケルの使用は禁止する。
- ⑤朝のウォーミングアップ時において8時45分から公式スタートを行う。その際は男女のレーン分けは
しない。

4 招集について

- (1) 招集は、大会関係者室3（更衣室側）にて行う。別紙「会場図」参照すること。
- (2) 招集は掲示で集合を指示する。指示の前に招集所への移動は控えること。

5 棄権とリレーオーダーについて

- (1) 棄権届とリレーオーダーの受付は1階西側リゾリューションデスクにて行う。（別紙「会場図」参照）
- (2) 個人種目を棄権する場合、棄権届を提出する。ただし、決勝競技への棄権は認めない。やむを得ず棄権
を申し出る場合は顧問と共に審判長まで申し出ること。
- (3) リレーに参加する場合、リレーオーダー用紙に記入し、リレーオーダー受付場所にリレーオーダー
締切時刻までに提出する。（場所や締切時刻については、別紙「会場図」、「タイムテーブル」参照）
- (4) リレーを棄権する場合、リレーオーダー用紙の「棄権します」に○をつけて締切時刻までに提出する。
- (5) リレーオーダー用紙は東京都高体連水泳専門部HPからA4で印刷し、半分に切り取り利用する。
男子は右上を切り取ること。
リレーオーダー用紙に記入する個人背番号は、東京都高体連水泳専門部HPに掲載する。
会場での掲示は行わない。
- (6) リレーオーダー用紙の記入方法については、令和6年度水泳専門部競技会要項P.31で確認すること。

6 競技について

- (1) 本競技会は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組
は、完泳後速やかに自レーンより退水する。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退
水方法を変更する場合がある。
- (3) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定
されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レー
ンの競技役員に申し出ること。
- (3) 800m, 1500m自由形については水中ラップカウンターを使用する。
- (4) 競技に関する抗議は、当該校の顧問及び部活動指導員が文書でその事象発生後30分以内に抗議料5万
円をそえてリゾリューションデスクに提出する。尚、その際に選手の同席は認めない。
- (5) 水着は世界水泳連盟マークの付いたものとし、世界水泳連盟マークが取れている場合は所定の用紙（東

京都高体連水泳専門部HPから印刷)に記入し、招集時に提出すること。世界水泳連盟の公認した水着以外で大会に出場した場合は失格とする。

- (6) 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着やサポーター、インナー、パット等の着用を禁止する。
- (7) スイミングキャップを重ねて着用する場合は、商標規定の違反にならないよう注意すること。
- (8) 招集の際には、すべての装飾品(ミサンガやネイルアート等を含む)を外すこと。
- (9) テーピング類は禁止する。やむを得ずテーピング類を使用する場合は、事前に顧問とともに審判長に申し出ること。
- (10) 招集員の指示に従ってスタート台後方に移動すること。着用していた衣類は脱衣カゴに入れること。
50m自由形に出場する選手はダイビングプールターン側の赤台に荷物・衣類を置いてから第2招集へ移動すること。
- (11) 自動審判計時装置を停止させないタッチ(ライトタッチ)に気をつけること。ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (12) 不正に出場した時は、学校に対し実質1年間の出場停止を含む指導を行う。
- (13) 競技結果(速報)については東京都高体連水泳専門部HPに公開する。会場内の貼りだしは行わない。

7 表彰について

- (1) 個人種目、リレー種目とも上位8位までを入賞とする。
- (2) 各種目8位までの者、またはチームに賞状を授与する。
- (3) 男女別の学校得点で8位までの学校に賞状を授与する。
- (4) 競技において同タイムにより同順位となった場合は、両者(チーム)にその順位の得点を与える。
- (5) 2日目の全競技終了後に学校対抗の表彰式を行う。
- (6) 各種目の賞状は2階東側出入口に置いておくので各自で持っていくこと。

8 ゴミについて

- (1) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (2) 自動販売機や帰りの公園、コンビニ、駅などで絶対に捨てないこと。

9 YouTube 配信について

- (1) 本競技会の配信は行わない。

10 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ①こまめな水分補給を心掛けること。
 - ②ペットボトル、水筒等は専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 貴重品は各学校の責任において管理すること。
- (3) 事故、怪我等のないよう各学校において十分注意すること。
- (4) 会場内外の設備、備品等を破損した場合は、各学校の責任において弁償すること。
- (5) 2日目競技終了後、関東・全国大会説明会を2階Aスタンドダイビング側にて実施する。参加が確定したチームの顧問1名、生徒1名は必ず出席すること。

11 部旗の掲揚について

本大会は指定された場所に部旗の掲揚を認める。以下の注意事項を守ること。

- (1) 部旗の掲揚できる場所は3階電光表示板側スペースの手すりとする。
(右写真)
- (2) 部旗の取り付けられる時間は8時30分～9時00分とし、取り外しは競技終了後～20分以内とする。上記の時間以外での取り付け、取り外しはできない。
- (3) 取り付けにはひもかロープ、すずらんテープを使用し、ガムテープや養生テープを使用することは禁止とする。*守れていない場合はこちらの判断で取り外しをおこなう。
- (4) 手すり部分の真下は、1m程ひさしのようなせり出し部分があるため、取り付けるひもの長さには余裕を持っておくと良い。ただし、旗の下側が2階天井からはみ出さないよう、持参する旗の大きさには注意する。

